

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あうりんこ紫原		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士と異なる職種のスタッフがおり、お子さまへの支援内容について、それぞれの分野から意見を出し合い、多方面からのアプローチがしやすい。	・担当制でなく、どのスタッフでも子どもに応じた支援プログラム作成や活動が取り組めるようにしている。 ・定期的に策定会議を行い、各職種の意見を個別支援計画に反映させることが出来ている。	・定期的な研修や支援者会議を行う事で、専門性の向上、知識の共有を図る。
2	・ご家族と発達段階の共通理解を図ることが出来ている。	・アセスメントの徹底や、保護者のニーズ聞き取り、ご家庭でも取り組める支援の助言、発達段階の擦り合わせを行い、共通認識に繋がる様に工夫を行っている。	・保護者の気持ちに寄り添いながら、継続していく。 ・フィードバック時間が長くなることがある為、目的・様子・対応を分かりやすく、簡潔に伝えることが出来るようにする。
3	・安心感や楽しみをもって継続して通園することが出来ている。	・発達や保護者ニーズに寄り添いながら、活動への楽しみや達成感に繋がるような活動の提供をする事が出来ている。 ・日々の関わりを通してスタッフと信頼関係が構築出来ている。	・保護者への聞き取りや、スタッフ間での状態像の共有を図りながら、活動提供を行っていく。 ・状況や発達に応じて、環境調整を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会やきょうだいの会等、保護者同士の交流の機会を設けることが出来ていない。	・日程調整や、環境調整が難しい。	・保護者会やきょうだいの会の開催方法を模索する。 ・掲示板に外部などの研修案内を行う。
2	・地域の子どもたちと交流する機会がない。	・郊外学習や散歩、公園遊びを定期的実施しているが、活動の目的やタイミングの難しさから、地域の子どもとの交流は積極的に行っていない。	・郊外学習や公園遊びのなど地域と関わる活動の継続。回数や頻度について検討する。
3	・研修会やペアレントトレーニングの案内が少ない。	・ペアレントトレーニングは現在、実施していないものの、随時、相談対応を行っている。 ・研修会については案内を掲示しているが、目に留まりにくかった可能性も考えられる。	・研修会について、掲示回数や場所を見直し、情報周知に努める。 ・日々の振り返りなどで何った相談に対して、情報提供や解決策の提案を行う。